

第 4 1 回 宮崎県中学校秋季体育大会開催基準

1 目 的

宮崎県中学校秋季体育大会は、中学校 1・2 年生を対象とした大会であり、中学校教育の一環として中学校生徒に広くスポーツの機会を与え、体育の振興と体力・技能の向上とスポーツ精神を涵養するものである。また、生涯スポーツの観点に立ち、運動に親しみ、運動の楽しさや喜びを味わう基礎づくりを図り、心身ともに健全な中学生を育成するとともに、生徒相互の親睦融和を図るものである。

1 主 催 宮崎県教育委員会 宮崎県中学校長会
宮崎県中学校体育連盟 会場地教育委員会

3 後 援 宮崎県市町村教育委員会連合会 (公財) 宮崎県体育協会 関係競技団体

4 主 管 宮崎県中学校体育連盟

5 開催競技

[男子競技] 陸上競技、水泳競技、バレーボール、軟式野球、ソフトテニス、卓球、弓道、サッカー、バスケットボール、柔道、剣道、新体操・体操、相撲、ソフトボール、バドミントン、ハンドボール、ジュニア・ラグビー、テニス、空手道
(合計：19競技)
※ 軟式野球、サッカー、ジュニア・ラグビーについては女子の参加も認める。

[女子競技] 陸上競技、水泳競技、バレーボール、ソフトテニス、卓球、弓道、バスケットボール、柔道、剣道、新体操・体操、ソフトボール、バドミントン、ハンドボール、テニス、空手道
(合計：15競技)

6 会 期 競技の会期は最大 2 日半とし、16 チーム以内の団体戦は 2 日間以内で消化する。(但し、ジュニア・ラグビーについては、安全面から別途配慮する。)
尚、荒天等による延期は、最大 1 日とする。

秋季大会 平成 29 年 10 月 28 日 (土) ~ 11 月 7 日 (火)
※ 水泳競技・・・平成 29 年 9 月 30 日 (土)

7 会 場 宮崎市内及び周辺を原則とする。

8 参加資格

- (1) 参加者は、各地区中体連に加盟した学校に在学し、学校教育法に基づく当該校の生徒であり、学校長が認めた生徒であること。
- (2) 参加者及び参加チームには、学校長が認めた当該校の教員が必ずつくこと。
- (3) 参加者は各地区中体連の主催する大会において、県大会の出場資格を得たチーム又は個人とする。但し、学校単位参加は除く。
- (4) チーム編成は、単一校で編成されていること。
- (5) 部長・監督・コーチは出場校の教職員とするが、評議員会において承認された指導者(監督・コーチ)については可とする。但し、必ず許可証を携帯すること。
- (6) チーム編成において、マネージャー及びスコアラーは生徒(1・2年生)とする。
- (7) 県大会出場者は、大会前に健康診断を受けておくこと。

(8) 参加資格の特例

部員不足による合同チームでの参加申請があり、別に定める複数校合同チーム編成規定に適合すると地区中体連会長及び県中体連会長が認めた場合、合同チームでの参加を認める。

(9) 参加登録については、一競技のみとする。ただし、水泳競技・相撲競技においては二重登録を認める。

9 参加制限

(1) 秋季体育大会団体競技・種目の参加チーム数は以下の表の通りとする。

| 競技名 | 各地区中体連 | 備 考 |
|-----------|-------------|-----------------|
| バレーボール | 地区代表・比例代表制 | |
| 軟式野球 | 地区代表・比例代表制 | |
| ソフトテニス | 地区代表・比例代表制 | |
| 卓球 | 地区代表・比例代表制 | |
| サッカー | 地区代表・比例代表制 | |
| バスケットボール | 地区代表・比例代表制 | |
| 柔道(男子) | 地区代表・比例代表制 | 男子のみ |
| 剣道 | 地区代表・比例代表制 | |
| ソフトボール(女) | 地区代表・比例代表制 | 女子のみ |
| バドミントン | 地区代表・比例代表制 | |
| 柔道(女子) | 学 校 単 位 参 加 | 各学校出場枠 1 チーム |
| ソフトボール(男) | | |
| ジュニア・ラグビー | | |
| 弓道 | | 各学校出場枠男女各 1 チーム |
| 新体操・体操競技 | | |
| ハンドボール | | |
| テニス | | |
| 空手道 | | 各学校出場枠 3 チーム |
| 相撲 | | |

(2) 秋季体育大会個人競技・種目の参加数は、以下の通りとする。

| 競技名 | 各地区中体連 | 宮崎地区中体連 | 備 考 |
|--------|------------------------------|-------------|---|
| 陸上競技 | 各種目別 5 名以内 | 各種目別 10 名以内 | ・ 1 種目 1 校 3 名以内 ・ 一人 1 種目 (リレーを除く) |
| 水泳競技 | 自己最高記録が県大会出場制限記録を突破していること。 | | ・ 1 種目 1 校 3 名以内 ・ 一人 2 種目以内 (リレー・メドレーリレーを除く) |
| ソフトテニス | 比 例 代 表 制 | | 男女各 |
| 卓球 | 比 例 代 表 制 | | 男女各 |
| 弓道 | 団体戦出場者及び団体戦に出場できない学校の男女各 1 名 | | |
| 男子柔道 | 各階級 4 名以内 | | ※ 各階級の出場者が 32 名を越えた場合は 8 名以内とする |
| 女子柔道 | 学 校 単 位 参 加 | | 各階級参加数制限なし |
| 剣道 | 比 例 代 表 制 | | 男女各 |
| 相撲 | 各学校 12 名以内 | | |
| 体操競技 | 各学校男女各 4 名以内 | | |
| 新体操 | 各学校男子 4 名女子 2 名以内 | | |
| バドミントン | 比 例 代 表 制 | | 男女各 (シングルス・ダブルスとも) |
| テニス | 各学校シングルス 3 名以内、ダブルス 5 組以内 | | 男女共 (※シングルス・ダブルスは兼ねない) |
| 空手道 | 各学校男女各 8 名以内 | | 組手・形 |

10 大会実施要項の作成

- (1) 大会要項は各競技専門部で作成し、評議員会で決定する。
- (2) 大会要項は具体的にし、いずれの人にも理解できるようにする。
- (3) 大会要項は事務局で一括印刷し、各学校及び関係機関・団体に配付する。

11 大会役員 別に定める。

12 参加申し込み

- (1) 大会要項規定により参加資格を得たチーム及び個人は、所定の参加申し込み用紙に当該学校長の承認を得て、各地区中体連会長に3部提出する。
- (2) 提出を受けた各地区中体連は、競技ごとに取りまとめ、署名捺印し、所定の期日までに2部を宮崎県中学校体育連盟事務局に提出する。
- (3) 申し込み締切後の選手及び監督等の変更については、所定の変更届によって監督会を最終とし変更することができる。

13 表彰

- (1) 団体競技優勝校には優勝旗及び賞状を、2位～3位校には賞状を授与する。但し決勝リーグを実施する競技は4位まで表彰できる。
- (2) 団体競技1位～3位入賞チーム登録全選手に賞状を授与する。但し、決勝リーグを実施する競技は4位まで表彰できる。
- (3) 個人戦1位～3位選手に賞状を授与する。

14 組合せ

宮崎県中学校秋季体育大会の組合せは、オープン抽選とする。但し、同地区が同ブロックに入らないように配慮する。

15 その他

- (1) 学校単位参加とは、地区代表制でなく、各学校単位で県大会に参加できることを意味する。
- (2) 団体戦及び個人戦の比例代表枠の基準は、地区大会団体戦参加校数による。